

高台D.O

発行日 平成29年12月21日

HOME http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/saijo_sho/

自分への挑戦！高台持久走大会！

12月14日(木)の高台持久走大会は、1・2年生：1000m、3・4年生：1400m 5・6年生：1800mに挑みました。

アップダウンが大きく、かなりしんどいコースですが、どの子も最後まで走り抜こうと、顔を真っ赤にし、息を切らせながら頑張りました。自己ベストが更新できず涙が出た子もいましたが、本番まで一生懸命練習したからこそ出た涙であり、努力したことは、これからのあらゆる生活に生きることと思います。

保護者や地域の皆様が至る所でくださったあたたかな拍手と声援が、どれほど子供達の背中を押してくれたことでしょうか。そこには、しんどくても前へ前へと足を出そうとする子供達の姿がありました。走路の安全確保を行っている教員にも「子供達、このコースが走れるなんてすごいですね。」とたくさんの声をかけていただきました。

多くの皆様に見守りや励ましをいただき、大会を無事に終了することができました。誠にありがとうございました。

この持久走大会実施にあたり、約3週間前から朝マラソンを行いました。体育委員会の児童はペースメーカーになるべくゼッケンをつけて、週4日間走ってくれました。この頑張りにも感謝！です。



<1年生：勢いよくスタート>



<2年生：きつい坂を上り切り、正門へ>



<保護者の皆様のあたたかい応援>

ふるさと西条・生き方など、多くの方から学んでいます！

3年生「花いっぱいのもちなみウォーク」

4年生「オリンピック・パラリンピック事業」

11月22日(水)に、70名の西条市街地地区社会福祉協議会や地域の皆様、40名の保護者の皆様のご協力を得て、「花いっぱいのもちなみウォーク」が実現しました。これは、昨年度、地域の方からお話をいただき、話し合いを重ねながら企画を練ってきたものです。

総合的な学習の時間に、多くの大人に見守られながら西条の町並みを歩き、町の歴史を聞き、実際の文化財に触れることを通して、「ふるさと西条」の魅力を感じることができました。また、多くの地域の方との触れ合いを通して、改めて自分たちの生活が多くの人々の支えによって成り立っていることを感じる事ができました。多くの皆様のおかげで、心に深く残る学習となりました。ありがとうございました。

<地域の方・保護者ともに町歩き>



12月19日(火)に、サッカー元日本代表の福田正博様にお越しいただき、4年生が、実技指導を受けたり話を聞いたりしました。福田選手と言えば、「ミスターレッズ」と呼ばれ、日本人初のJリーグ得点王に輝いた方です。授業は、福田選手の「好きでなくてもやらなければならない時がある。どうせやるなら楽しもう」という言葉でスタートしました。福田選手のお手本とわかりやすいアドバイスで、どの子も自分なりにボールを扱う楽しさを体感していました。

また、福田選手の「うまくなりたかったら、失敗してもやり続けること。失敗した数だけ上手になる」「笑顔でいれば、運もツキも人もよってくる。そのことでしんどいことも乗り越えられる。スマイルが大切だ」という言葉に大人も子供も勇気づけられました。

<福田選手にきぎ付けの4年生>



5年生「酒造りの秘密をさぐれ」

6年生「夢・感動事業」

11月21日(火)から11月30日(木)の間の5日間、ひとクラスずつ西條鶴醸造株式会社の酒蔵を見学させていただきました。酒蔵の中の様子や酒造りの様子、酒蔵で働く人々の苦勞等を知り、これまでは見るだけだったオペラ「白壁の街」ですが、見学を通して「自分たちが38代目として演じるんだ」という心構えができたようです。

「麴室」に入らせていただいたときは、麴のよい香りと温かさで、「もとの仕込み」の歌詞にある「かおりよし 人肌のぬくもり 外は風、室は春…」の意味を実感したと、教員も児童も話していました。

38代目が、どのようなオペラを醸し出してくれるのか、楽しみです。<麴室で杜氏から説明を聞く児童>



12月18日(月)に、小惑星探査機「はやぶさ1・II」の開発や画像解析に携わっておられる近畿大学工学部准教授 道上達弘先生にお越しいただきました。宇宙の映像やクイズを通して、宇宙の神秘や不思議を紹介していただくとともに、JAXAでのエピソードや自分の失敗体験を交えながら、夢や目標に向かって挑戦することの尊さを話してくださいました。道上先生の「成功の反対は失敗ではなく、チャレンジしないこと。チャレンジしなければ失敗はないが成功もない。」という言葉は子供達の心に強く響いたようです。

「夢をもつ」ということが、生きる喜びや困難を乗り越える原動力になることを実感しました。<宇宙の仕組みの説明>



体罰・いじめアンケート、各種相談の利用について

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。教職員に関わる内容については管理職が指導し、児童に関するものは、管理職、生徒指導主事、学年主任等を含めた複数体制で対応しております。

今後も、教職員一同、自分のあり方を真摯に見つめ、児童や保護者の声をしっかり聴き、校長を中心とした学校体制で体罰・セクシャルハラスメント・いじめ防止に努めて参ります。また、各相談日の利用について、「何をどこへ相談したらよいか」というご質問をいただきました。相談窓口は教頭ですので、ご心配なことがおありの時は遠慮なく、まずご一報ください。内容等を考慮しながら相談窓口の選定や日時の設定等をいたします。

冬休みの過ごし方と緊急連絡先

12月23日から子供達が心待ちにしている冬休みが始まります。休み中に事故や怪我なく、元気で楽しく過ごせるよう、次のことについて話をしてください。

- 子供だけの店やゲームセンターへの出入り、おごり合いや物の貸し借りは絶対にしない
- 火遊び等の危険な遊びをしない。
- 交通ルールを守るとともに、横断する際は周りの安全を確認する。自転車に乗る際は必ずヘルメットを着用する。
- 不審者から身を守るための「イカのおすし」を確認する。
- ※イカない、のらない、おお声を出す、すぐにげる、しらせる
- 大人が留守の家には上がって遊ばない。

万一、年末年始に(12月29日~1月3日)に児童や保護者にかかわって事故等で緊急に連絡の必要が生じた場合は、次の番号に連絡してください。

☎090-1358-3386 (緊急の場合のみとしてください。)

西条小学校の相談日について

お子さんのことや子育ての悩み等、気になることやご心配なことがおありの時は、西条小学校教頭まで電話をください。関係職員やスクールカウンセラー、心のサポーターが話をお聞きし、一緒に考えます。西条小相談日は、相談内容に応じて管理職や養護教諭等がご相談に応じます。いつでも気軽にご相談ください。

※相談日の内容と担当者は次の通りです。

【電話番号】422-3322

いじめ防止委員会・いじめ相談窓口：受付随時

<連絡先>教頭または担任

【校長】中嶋 崇弘【教頭】榎並 愛子【教頭】金田 敏治
 【指導教諭】京谷 志穂【教務主任】福間 博子【生徒指導主事】中村 織絵
 【養護教諭】津島 清美【スクールカウンセラー】和田美紗子【心のサポーター】太田 美鈴

体罰・セクシャルハラスメント相談窓口：相談日 1/16 (火)

<連絡先>教頭

【教頭】榎並 愛子【指導教諭】京谷 志穂【生徒指導主事】中村 織絵
 【養護教諭】石田 幸恵

西条小相談日：1/23 (火)

<連絡先>教頭

「スクールカウンセラー相談日」：1/29 (月), 2/20 (火)

<連絡先：教頭>

【スクールカウンセラー】和田美紗子(臨床心理士)

「心のサポーター相談日」：1/10・17・24 (水), 2/7・21 (水)

<連絡先>教頭

【心のサポーター】太田 美鈴(東広島市教育委員会 青少年育成課から)



本年の皆様のご支援・ご協力に感謝いたします。よいお年をお迎えください。



中国放送で、プロ野球やサッカーなどの実況中継やリポーターとして活躍しておられる長谷川努アナウンサーを講師としてお招きしました。

「みんなの前で話してみよう」という演題のもと、自分の思いをみんなに伝える方法や人前で話す時のポイント等を話していただきました。

子供達の心の中には「上手に話そうとか受ける話をしようとするのではなく、ありのままの自分で話すことが大切」という言葉が残ったようです。アナウンサーは、相手のよさを引き出すのが仕事という言葉は、私たち教職員も胸に刻みました。

12月13日(火)に市の文化課の協力を得て、「出前美術館」を実施しました。

作品に描かれているものの色や形、表情などから様子を感じ取り、自分なりの題名をつける活動を通して、子どもたちは作品の細かいところまで観る面白さを感じていました。また、指導員の方による解説を聞くことで、作者が作品にこめた思いやこだわりを知ることもしました。